

北陸学院同窓会々報

発行責任者
小崎 淳子

第 59 号
2020年7月

「日々自愛」



同窓会会長

小崎 淳子

(小崎)
(S 39年度卒)

皆さま、お元気でいらっしゃいますか。今年は雪もなく穏やかな新年を迎えることができ、いよいよ東京オリンピックが近づいて来たと思っていました。二月初頃から、武漢で新型コロナウイルスが発生、あっという間に世界に蔓延、日本にも上陸、毎日感染の情報がメディアを騒がせておりました。

「死」が身近に感じられる恐怖、人と接触できない自宅待機の寂しさ、「緊急事態宣言」も出たほどでした。

軒並みに催し物や人が集まる所は閉館になりました。

同窓会も例外ではなく、昨年の総会以降行った行事は三回のバイブルクラスと二月のクリスマス祝会だけです。このクリスマス祝会の日はとても素晴らしいお天気に恵まれ、校長先生にもご出席いただき、同窓生の歌唱指導の下、大きな口を開けて、気持ち良く讃美歌を歌うことができました。

同窓会への入会式も今年は皆さまのご健康と安全を考慮しまして「同窓会にご入会ありがとうございます」というご挨拶の気持ちだけを伝えて頂くことで、学校にお任せいたしました。

今年の新入生も入学式のみで、自宅待機、ようや

く授業が再開できましたのは六月でした。学校も大変な時期を迎えていると思われれます。

いつもの「コロナ」が終息するか、予想ができません。そこで今年は第二十五年の歴史ある年ですが、その頃には「コロナ」感染が収まっているかもしれません。でも現状では予測が付きません。なるべく今年は人が密集する行事は避けたいと思いました。

そこで皆さまにお願いがあります。総会につきましては役員改選時期に当たりますので、皆さまのご意見をお聞きたいとたく書面決済の方法を取らせていただくことにいたしました。

お葉書きを同封いたしますのでよろしくお願いいたします。

バザーにつきましても（今年のバザー当番学年昭和五十五年度卒の方）中止いたします。

不安な毎日ですが、その中でも自分ができることの善意が溢れるようになってきました。手作りのマスク、医療業者へのレインコート、消毒液などの贈呈、お弁当の宅配などいろいろな形で表れてきております。

嬉しいニュースもあります。加賀藩主とその家族が頻繁に出入りしていた金沢城と現在の尾山神社を結ぶ鼠多門橋が完成しました。能登ヒバで作られたそうです。

金沢にいらしたらぜひ見てください。

「コロナ」感染の終息を切に願ひ、皆さまとお会いできます日を心待ちにしております。

どうぞくれぐれもお体ご自愛ください、この非常事態を乗り切ってください。

明るい明日を信じましょう。



『主を畏れることは
知恵の初め』



同窓会のおせんべいがありました

「苦難をも誇り」と」



学院長 楠本 史郎

「苦難をも誇り」とします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。」

ローマの信徒への手紙 五章三〜四節

パウロは「苦難をも誇り」とします」と語ります。驚くべき言葉です。誰だって、苦しいことはまっぴらだからです。

パウロは、鉄のように強い人ではありません。壁に突き当たっては悩み、苦しみました。それでもこう言えたのは、主イエス・キリストのおかげです。主が罪を執り成し、神に愛される人にしてくださいました。苦しい時も、共にいて守り、支えてくださいます。その経験を思い起こし、神さまの愛をつくつく感じています。だから、苦難さえも誇りとするようになったのです。

主イエスを知る人は、苦しみに遭っても慌てません。主が助けてくださると信じ、耐えることができます。逃げずに向き合いますから、解決の道を見つけ、乗り越えていきます。この経験をすると、あきらめません。どんなことにも、落ち着いて望みを持ち続けることができます。「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」のです。

昨年末から、新型コロナウイルスの感染が広がり、世界中が混乱しました。先が見えず、不安に覆われました。苦しい時、人の本性が出ます。慌て叫ぶ人、絶望する人、怒りをぶつける人、疑う人、そんな人間の、悲しい、弱い姿が浮き彫りになりました。北陸学院もまた、学年末と始まりの大切な時期、大きな影響を受けました。けれども、聖書の言葉に立ち返り、冷静に対処することができました。主が共におられると信じて耐え、知恵を合わせて考え、対策を講じ、ここまで来ることができました。この学校が神さまに支えられていることを、改めて感じました。

どんなときにも、主が共におられます。守り、支え、導いてくださいます。まず、そのお声を聞きましよう。慌てず、落ち着いて従ってまいりましよう。

「今日、私は、りんごの木を植える」



中学校・高等学校校長 堀岡 満喜子

同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

昨年度の三月二日と七日、本校では、それぞれ高校、中学校の卒業式が予定されていきました。しかし、その直前二月二十八日に、全国一斉休校の要請が政府から出されました。今年度に入り、すぐに休校の延長要請が出されました。入学式は、四月七日。さて、どうしましようかという話になりました。

短くなっても良い。この卒業・入学の時、神の前

に一緒に立とう。そして、この学校へと神がお選びになった生徒一人一人の名前を呼び、返事をしよう。そう決めました。

四月に入り、私たちはまず、礼拝を開始しました。礼拝動画を撮影し、毎朝、礼拝を配信して自宅で生徒たちが礼拝を守れるようにしました。時に特別礼拝として、パイオルガンの賛美によりバツハのコーラルを演奏しての礼拝や、医療機関に防護具の代わりとなるレインコートをお届けする祈りと奉仕の報告礼拝を配信することもありました。

さらに、五月からは遠隔授業も開始しました。生徒は配信される本校の教員の授業を受け、課題に取り組みます。全ては、インターネットの時代ゆえに可能なことでした。

新型コロナウイルスの波紋は確かに本校までも広がり、予定を変更することが多々ありました。でもいつもと変わらず、今も。大事なことを大事にするために心も思いも力も尽くしています。

今年度のはじめ、宗教改革者マルティン・ルターの次のような言葉を紹介しました。そして、どのような時にも、神のおられるゆえに力を尽くそうと思っています。

「たとえ明日、世界が終わるとしても、今日、私はりんごの木を植える」

同窓会の皆様。

今年はお会いできる機会が少ないですが、いつも、覚えて祈っています。



「新支部長の」挨拶



倉島 尚美
(朝倉)
(S 38年度卒)

関東支部

主の御名を賛美いたします。

昨年一〇月に田中美智子支部長より、引継ぎをいたしました倉島尚美です。

関東支部は同窓生の諸先輩の皆様の大きなお働きにより、同窓会のごしも火を絶やすことなく続けられてきました。

そのバトンを渡された私は、責任を負えるかと不安でいっぱいでしたが、若い役員の方々から「私達が手となり、足となるから」と強い励ましの言葉をいただき、微力ながらお受けいたしました。田中前支部長の長いお働きに心より感謝申し上げます。これからいろいろと助言をいただきながら、楽しい会を計画していきたいと思います。

関東支部はここ数年九段教会を会場にして開催しております。礼拝、総会、懇親会と年一回の会ですが、当日はあちこちから金沢弁が飛び交い、心はすっかり女学生に戻り、和やかな会となっております。またこの日のために本部役員の皆様方、学院からの先生方のご出席をいただき学校の様子などをお聞きするのも楽しみのひとつなのです。また東京近郊にお住まいの先生方のご参加も嬉しく、恩師の先生を囲んで「笑いの輪」がうまれております。

新しい元号に変わった令和元年の関西支部同窓会は、一〇月一七日の第三木曜日、少し風のある日ではありましたが、お天気にも恵まれ、大阪北区のサロン・ドウ・アヴェンヌに皆で集まりました。

堀岡満喜子校長先生、本部より若林恵子様、玄田博子様をお迎えし、同窓生二〇名、総数二三名で楽しいひと時を過ごしました。

今年はず堀岡校長先生のお導きで礼拝の時を持ち、「コヘレトの言葉」二章一節〜二節に耳



中村 彩子
(S 55年度卒)

関西支部

最近、若い同窓生の出席も多くなり、これからの会の中心になっていただけると期待します。また学院も男女共学となり、男性参加の日もそう遠くないのではないのでしょうか。支部会も今までの伝統を継承しつつ、新しいご意見をいただきながら一緒に進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

尚、二〇二〇年度関東支部総会は、「新型コロナウイルス」の感染が国内外に増え続けていることを鑑み、役員相談の上、残念ですが中止としました。

この時期、多くの困難、苦しみにある方々のことを覚えて、皆様とご家族のご健康が守られますようお祈りいたします。

を傾け、そしてメッセージを頂き、讃美歌を歌う…栄光館での礼拝を思い出しました。

懇親会では美味しいお食事を頂きながら、各テーブルでの懐かしい話に花が咲き、まさしく「乙女の集い」となりました。後半は全員で「故郷」「紅葉」を歌い、最後は「もりのみや」このこじょうのみなみ♪と、校歌を二度歌いあげて楽しい一日はお開きとなりました。

今年の同窓会も一〇月の第三木曜日に予定致しておりますが、世界情勢を鑑み残念ながら開催を検討しなければならぬ状況でございますが、今後は関西だけでなく、是非、西日本にお住まいのたくさんの方の卒業生で支部を広げて行きたいと願っています。

最後になりましたが、「年齢に関係なく楽しい会を」と長きに亘り関西支部にご尽力を頂きました奥久仁子さんが関西支部長を退任されました。長い間お疲れ様でございました。

東海支部だよ

八木 寿満子
(西村)
(S 37年度卒)

昨年総会の折、本部役員の方々より支部に対する大変な厚い思いを受け、冬眠から覚めた思いでした。まず動くこと、千里の道も一歩よりとばかりに岡崎に住む同窓生に声をかけ、「やろう」という力強い言葉を戴き、その方と二人で胎動を始めました。

年令を重ねることにより、なお一層の母校との精神的つながりが大切だと感じています。今の時代に添わない方法かもしれませんが「face to face」をモットーに、支部づくりに励みます。

退任にあたって

関東支部

田中 美智子

(北川)

(S 31年度卒)

関東支部の同窓会は、北陸学院に一日でも席を置いた方を会員に誘っています。関東近郊にお住まいの先生方にもお声がけし、参加していただいております。先生にお会いしたい方も出席されますし、先生方同志も同窓会の雰囲気があり本当に和気藹々の会です。今年は「コナウィルス」の所為で同窓会が行えませんでした。来年は今年の分も合わせて、楽しい会になることを願っております。現在、会を支えていただいている人は皆、ご自分のお仕事を持っていらっしゃるので、数年前から、メールやラインで連絡をとり、全員が集まることは少なくしてあります。メールやラインの出来ない私には電話やFAXをいただき、ご迷惑をおかけいたしました。昨年、片山様の事務所でテレワークによるミーティングに参加させていただきました。意見のやりとりも画面を見ながらでき、大変驚きました。今「コナ」の事で会社へ行けなくて、自宅で仕事をするのが当たり前のようになっています。

通勤の無駄がなく、仕事の能率も上がるようです。これからの世の中どんな風にならっていくのでしょうか。

来年からは、本部から各支部に「〇月〇日〇時からミーティングします」と連絡があれば、その時間にテレビの前に座って待っていればよいという事に

はなるかも知れないですね。

娘達に「自分のやりたい事をする時間を作れ」と言われていますのでそうしたいと思っています。長い間、ご指導、お力添えをいただきまして誠にありがとうございました。

関西支部

奥 久仁子

(沢田)

(S 42年度卒)

六年間の幹事をこの度卒業させて頂きました。振り返ると楽しかったの一言です。

六〇代半ば同窓会案内の葉書に懐かしさで出席しました。その時の新しい出席者四名が次の幹事にご指名受けた訳です。さて四名顔合せて思いは一つ。「楽しい会。楽しんで頂くのが目的。楽しければ良し、多少ミスがあっても大丈夫。関西支部はそういう会です。二時間のプログラムを考えるのは楽しかったです。アイディアを出し合い分担して進めました。ゲームやクイズ、シルバークリヤに詩の朗読色々しました。帰り際に「楽しかった、また来年楽しみにしています。」そう言って頂けると嬉しく幹事をしていて良かったと胸を撫で下ろしたものです。厄介だったのは以前の名簿の整理でした。往復葉書を出し返信の無い方全員に手分けして電話を入れ、それでも返事のない方等削除し、揚々私達なりの名簿が出来ました。ここまで五年程かかりました。私事ですが、金沢の実家の近所だった方二人と昨年の同窓会で五〇数年振りに出合いました。子供時代の面影があり驚きと感動で興奮しました。これも同窓会のお陰と感謝しています。

2019年度 部・同好会活動支援金の使途

吹奏楽部の楽器購入一部負担



ご一緒させて頂いた幹事の皆様有難うございました。関西支部の繁栄を心よりお祈りしています。幹事は退いても同窓会には出席し応援していきたいと思っています。

会長様はじめ本部の皆様六年間お助け頂きまして有難うございました。心より感謝申し上げます。

同窓会活動をふり返って

バザーを終えて

近岡 尚美

(谷内)

(S 54年度卒)

短大を卒業してからずっと母校に携わっておりまして私には、母校を巣立つてから四〇年で私達の学年にもバザー当番が来るのだということはずっと前から分かってはありました。昔の同窓会館でのバザーでは、購買部と同窓会総務をされていた中嶋さんがバイクで献品を集めに駆け回られたことがなつかしく思い出されます。とうとう当番学年のお知らせが来てしまいました。前年の同窓会総会でのバザーお願いの後は最初の出足が難しく心が折れてしまいました。しかし、年が明け強力な人材がモリモリと仲間を増やして下さり、また同窓会役員の方々の力強いバックアップも頂いて、バザー直前には沢山の物品が届きました。

わたしたちのバザーは「東北支援」と銘打ちました。大学で「寄り添いの花」の活動を行ってあられる田中純一教授にお願いして南三陸町の方が作られた物品の販売を行うことにより、売上金を支援にまわす事ができました。大学生のお手伝いも頂きました。バザー当日は、懐かしいお顔に囲まれ嬉しく楽しく働くことができ、沢山の皆様のおかげで大盛況に行われましたことを心から感謝申し上げます。同学年の皆様との交流も活発になりました。還暦のお祝いが皆で出来そうという楽しさもありました。後輩の皆様もどうぞお励みくださいませ。



バザー当番学年 (S 54年度卒) のみなさま



東北支援 物品販売コーナー



第124回 総会風景 (於 ANA ホリデイ・イン金沢スカイ)



クリスマス祝会



思い出の一言

二〇一九年度 活動報告

(期間) 二〇一九年九月一日
～二〇二〇年八月三十一日

二〇一九年
9月9日 バイブルクラス
10月14日 同窓会第124回総会
11月11日 バイブルクラス
12月10日 クリスマス礼拝

二〇二〇年
2月 同窓会費、部・同好会活動支援
金納付案内発送
2月17日 バイブルクラス
2月28日 新会員入会式
3月7日 中学校卒業生へ記念品贈呈
4月13日 バイブルクラス中止
5月11日
6月15日
7月6日
6月 常任幹事会・クラス幹事会中止
7月中旬 会報
8月 バザー中止

お会いできる日を
まっています。



二〇一九年度 役員及び支部役員

名誉会長	北陸学院学院長 楠本 史郎先生
顧問	北陸学院中学校、高等学校長 堀岡 満喜子先生
同	綱村 淑子 (安井) S 30年度卒
会長	小崎 淳子 (小崎) S 39年度卒
副会長	若林 恵子 (安田) S 37年度卒
同	須加 二葉子 (長田) S 39年度卒
総務	北村 まや (松永) S 60年度卒
書記	池田 寿美 (米崎) S 60年度卒
同	瀬澤 由香 (瀬澤) H 5年度卒
同	汐井 理美 (楠木) S 48年度卒
会計	北川 章子 (山崎) S 48年度卒
同	玄田 博子 (富久尾) S 39年度卒
宗教部	黒瀬 千鶴 (泉) S 49年度卒
同	九良賀野 佳代子 (安田) S 31年度卒
会計監査	安田 利子 (谷) S 41年度卒
同	大村 麗子 (井田) S 43年度卒
能登連絡員	井田 茂美 (北川) S 31年度卒
関東支部	田中 美智子 (朝倉) S 38年度卒
顧問	倉島 尚美 (都田) S 36年度卒
支部長	伊澤 しのぶ (井上) S 41年度卒
副支部長	島田 幹子 (安岡) S 59年度卒
同	久保田 ゆずり (吉田) S 55年度卒
会計	中 礼子 (若林) S 50年度卒
同	本江 理恵 (西村) S 37年度卒
庶務	
関西支部	中村 彩子
支部長	堀江 芳美
	森 郁子
東海支部	八木 寿満子
支部長	



ある日の同窓会館

「明治四〇年卒業生の岸井徳子の孫ですが…」という北原様からのお電話に、事務局の宝ともいえる「卒業名簿」から細解くと明治時代の第一期卒業生にその名前が記されておりました。

本年二月、ご家族のみなさまと共にウイン館並びに事務室訪問が実現しました。ご訪問に際し、北原様の祖母にあたる岸井徳子様はウイン館に展示されている英文卒業証書と同期で、卒業式は一九〇七(明治四〇)年三月二三日(土)に開催され、同年八月には金沢出身の海軍将校とご結婚なされたとお伺いしました。

岸井徳子様の学生時代のお写真とその頃の古い写真をDVDに再生してご提供いただき、貴重な資料として、大切に保存したいと思います。その折のメッセージを頂きましたのでここにご紹介いたします。心から御礼申し上げます。

北陸学院 皆様

前略、去る7日(金)にはご多用中にも係わらずお迎え頂き有難うございました。
祖母がお世話になってから100年以上経っているにも関わらずとても懐かしい思いをさせていただきました。
特に祖母と同期の方の英文卒業証書を感じを持って拝見できました。
祖母が子供達をミッションスクールに入れたいと願っていた希望が実り、それが私どもに何らかの形で女学院のスピリットが継承されているのでは、と体感できたほど、祖母の学園生活がいかに楽しく充実したものであったか想像できて感謝の気持ちで一杯です。

いつか子や孫達が、又訪問させて戴き同じ感激を味わえるよう願っております。
では皆様のご健勝と女学院の益々のご隆盛をお祈り申し上げます。
誠に有難うございました。

岸井徳子孫 北原英雄

新年度のバイブルクラスについて

例年ご案内しております新年度のバイブルクラスのスケジュールは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、当分の間中止して、再開は改めてご連絡させていただきます。

楠本院長先生からのメッセージ

ウィルス感染が広がり同窓のみなさまも心配しておられることと思います。学院では今、幼稚園から大学まで授業が出来ず、六月対面授業開始を目指して準備しています。けれども神様は必ず、乗り越える道を備えていて下さいます。「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなからず、試練と共にそれに耐えられるよう、逃れる道をも備えていて下さいます。」(「リントー」一〇章一三節)とあります。

聖書の約束を心に留め、望みの道を共に歩んでまいりましょう。ご健康が守られ、またお目にかかる時を楽しみにしています。

事務局便り

♡近年、会報送付の後に、多くの住所氏名の不明封筒が戻ってきて心が痛みます。どうかご友人に届いているか、変更手続をなされているか、確認していただだけませんか。

同窓会費

一年分 一、〇〇〇円(何口でもよろしいです)

部・同好会活動支援金

一〇、一〇〇〇円(何口でもよろしいです)

《ゆうちょ銀行》

〇〇七〇〇〇一六八五五

北陸学院同窓会

(随時受け付けております。)

【北陸学院同窓会館】

〒920-8563
金沢市飛梅町1-10
TEL 076-261-1868
FAX 076-261-2268
《Eメールアドレス》
hsdoso@hokurikugakuin.ac.jp

同窓会館は毎週 月・水・金曜日の午後1時から4時まで開いています。住所変更・改姓などの連絡事項がありましたらお知らせ下さい。

編集後記

「中止」という言葉があたり前のような日々「日常」がどんなに大切だったのかと思わされます。今回、原稿をお引き受けくださった方々が有難く思われます。

また、長きにわたり関東・関西支部を担われたお二人のお働きに心から感謝申し上げます。次号は会報も六〇号となります。皆さまのご協力を得て読みやすい会報にしたいと思います。

北陸学院同窓会第125回総会の 中止について

今年の第125回総会は新型コロナウイルス感染予防のため、中止といたします。総会が開催できませんので、書面にて議案事項を審議していただきたく、お願い申し上げます。

①議案の行事計画につきましては、行事ができる見込みがつかみませんので、その時々
の状態、対応する。

②役員の件は、丁度今年は改選時期に当りますが、この状況では候補を探す事ができません。現状の役員がそのまま継続する。

以上の2件につきまして皆様のご意見をお聞きしたいと思っておりますので、同封のおはがきにより8月31日までにご意見をお願いいたします。(お手数ですが、63円切手をお貼りの上投函下さい。)

尚、ご返信がない場合は執行部に一任という形にさせて頂きたいと思っておりますので、その旨ご了承下さい。

(見本)

北陸学院同窓会第125回総会審議事項

総会を行うことができませんので、書面にて表決を取りたいと思いますのでいずれかに○印をお付け下さい。ご協力のほどお願いいたします。

1、行事計画について

その時々に応じて対応する 賛成 ・ 反対

2、役員案について (現役員は会報に表示)

現状の役員継続 賛成 ・ 反対

ご質問、ご意見

* 昭和 () 年度卒 ・ 平成 () 年度卒

ご住所 〒

お名前

電話番号 () -

同窓会バザーの中止について

毎年、ミッション祭に合わせて開催しております同窓会バザー（今年は昭和55年度卒の当番学年）は上記の理由でやむを得ず中止といたします。